



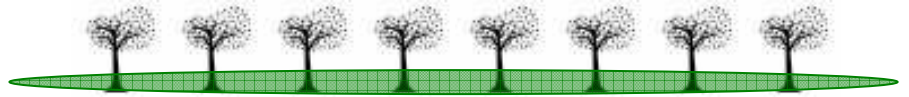
まちとむらをつなぐ

ぷらっとほーむ



★ トップニュース★

おいでん・さんそんセンター開所式



2013年8月8日（木）、都市と農山村の交流をコーディネートする「おいでん・さんそんセンター」が開所致しました。

参集いただいた方々は本当に多彩な顔ぶれで、農林商工の産業界や地域のために活動されている方々等、総勢 120 名もの方がお越し下さいました。

太田豊田市長からは「ないもの探しでなく、あるもの探しが地域を育てる、集まっていたあるもの探しの達人の皆さんにセンターを支えていただきたい。」、杉浦豊田市議会議長からは、「中山間地のために活動する厚みを持った人材が豊田市の中にはたくさんいる。日本の、世界のモデルになる地域づくりが実現することを期待する。」との挨拶をいただきました。

★ おいでん・さんそんず任命式

当日は、山里暮らし通信員「おいでんさんそんず」の新メンバーの任命式もあり、下山地区より岡本みかさん、近藤圭太さん、小原地区より鈴木孝典さんが新たに任命されました。今後は、合計 5 人と 2 団体で地域の魅力を発信していただきます。



★ 意見交換会 テーマ「若者が感じる農山村の魅力と未来像」

地域の若者を招いた意見交換会では、コーディネーター・高野雅夫氏（名古屋大学大学院研究科准教授）、パネリスト「green mama」宇角佳笑さん、「近藤しいたけ園」近藤圭太さん、「M-easy」戸田友介さん、「こいけやクリエイト」西村新さん、太田市長、鈴木センター長に、『若者が感じる農山村の魅力と未来像』を語っていただきました。

以下、パネリストより。

「なりわいとしては厳しいが、原木しいたけにこだわっている。対面販売でのお客さんの反応がうれしく励みになる。情報発信が重要」（近藤）
 「すごいことをするのはなく、ここに住むだけでいい。暮らしを大切にしておじいちゃんおばあちゃんのように歳をとりたい」（戸田）
 「安心・安全なものを求めている母親は多く、都市にいても農村とつながれる。田舎で無農薬栽培にもチャレンジ、大変さを実感した」（宇角）
 「農業・暮らしにアンテナの高い人だけでなく、ふと手に取ってもらえる間口の広い情報誌で発信していきたい」（西村）
 「千年かけねば戻らない暮らしが、この中山間地域にはある。必要だと思ふ人たちが勝手に始めてしまうことが、未来につながる」（高野）
 「都市＞農山村ではなく、都市＝農山村が重要。強み・弱みを補い合い、共生できるまちをつくっていく」（太田）
 「競い合って成長する時代から、支え合って豊かになる時代になった。センターが課題を解決するのではなく、きっかけをつくる。期待に応えられるように努める」（鈴木）

都市・農村部それぞれの地域で、ていねいな暮らしにこだわって活躍する若者たちに、農山村の魅力や未来像を語っていただき、充実した意見交換となりました。



★活動報告★

稲武地区 とうもろこし収穫と自然体験



8月3日（土）、トヨタ生活協同組合の要望を受け、稲武地区の集落や農家とマッチング及び企画の支援をし、生協組合員向けの「とうもろこし収穫と自然体験」を実施しました。

当日は多数の親子が参加し、とうもろこし狩り、川遊び、夏野菜や五平餅・あまごの塩焼きなどもふるまわれ、参加者のみなさんがとても楽しまれている様子がみられました。

この企画にはなんと定員90名に対し400名超の応募があり、今後のトヨタ生活協同組合よる第2弾収穫体験プログラムの企画も期待されています。

千年持続学校 小屋改修×エネルギー講座開設

旭地区で行われている千年持続学校の「住まい作り講座」。その講座により建設されている母屋（千年庵）の上棟式が2013年6月30日に終わり、その隣に建っている既存小屋の改修（小屋は主にトイレや風呂など、水廻りが集まる予定になっており、今後、壁の改修、外装内装工事、設備工事を行います）の講座開設会議に参加しました。

講座のねらいは、田舎で暮らすという憧れはあっても、「そのきっかけがつかめない。誰に相談していいかわからない。地域の人とうまくやれるか。」そういった不安を、同じ目的をもった仲間とともに話し合い、学びながら地域に接していくこと。そして、自然エネルギーで暮らす技術を学ぶことや、中山間地域で暮らすイメージの具体化を図ること。

地元の大工や左官、プロの建築士・自然エネルギー設備の専門家などが、技術指導を無償でおこないます。

詳しい内容はP3、「参加者募集」参照。



豊森なりわい塾 第三回講座

豊田市旭地区を拠点に行われている、山里で自然の恵みに根ざしたなりわいで生きていきたい人・まちに暮らしながら、山里とのつながりの中で生きていきたい人のために開かれた塾の第三期・第三回講座に参加しました。外から見てはわからない田舎を、実際のフィールドワークなどを通して現地の人々と触れ合い、自身の暮らしや生き方を見つめなおすことができます。トヨタ自動車・豊田市・名古屋のNPO「地域の未来・志援センター」が設立。今回の講座では、「聞き書き」「IUターン者への訪問」「自己分析」、足助ユースホステルでの合宿、塾生同士の交流も行われました。



この講座は一年間を通して全10回開かれます。今回までの三回を通じて田舎に対するあこがれや厳しさが具体化され、塾生自身の、将来に対する期待や夢がより高まっていることが、みなさんの目から感じられました。



● 千年持続学校 小屋改修×自然エネルギー講座

【ねらい】若い世代の移住促進や自然エネルギーで暮らす技術を学ぶ。地域との結びつきをつくり、中山間地で暮らす具体的なイメージをつくる。

【講座対象物件】豊田市太田町「板取の家」敷地内。千年持続学校で建設を進めている「千年庵」（仮称）に付属の設備棟。風呂、トイレなど水廻りが集まる予定。

【講師】大工：高山定泉氏、高山忠夫氏 左官：高山昌大氏 建築士：市川真奈美氏 自然エネルギー設備：小川朝雄氏、南澤桂氏、高野雅夫（名古屋大学大学院環境学研究科准教授）

【講座内容】土壁塗り・壁窓下地・外壁張り・内部間仕切り・床壁天井張り・浴室床コンクリート打ち、自然エネルギー100パーセントの暮らしを実現するための設備の製作と設置。

【スケジュール】9/22・23・28・29、10/26・27、11/23・24、12/28・29、1/25・26、2/22・23、3/29・30（*上記以外に毎日曜日が自主制作日）

【参加者】豊田市中山間地に居住している・または居住を検討している・もしくは興味のある人 15組（家族・カップルは1組とする）。建築・エネルギー設備について知識・経験のない人。

【参加費】20,000円（受講料は資材費に充当します）。これ以外に、保険料・食費・宿泊費は実費が必要です。

【参加申し込み】8月中旬から9月10日まで。必要事項を記載して、メールにて申込み。

【問い合わせ・申し込み先】北野 tom55jp72bb@ybb.ne.jp
090-3445-8142※申し込み多数の場合は、申込書記載内容に応じて審査します。具体的に移住を検討している若い世代を優先します。

【申し込み記載事項】①氏名②性別③年齢④住所⑤連絡先（メール・電話）⑥一緒に参加される人がいれば氏名・性別・年齢⑦田舎への移住を考えていますか？（もともと田舎に住んでいる。もう移住した。移住する予定がある。住むところを探している。これから検討したい。移住するつもりはない。）⑧講座に参加してみたいと思った理由（2-3行程程度で簡単に）

● 山里自然学校

『山里学校』・・・やまざとに学ぶ あたらしい生き方・・・とよたの山里（旭・足助・稲武・小原・下山）で暮らす人々の知恵を学ぶ講座です。

【参加資格】●18歳以上。学生・一般対象。●各回定員10名（お子様連れで参加希望の場合は問い合わせください）

●野草摘みとお料理づくり 西村農園

【場所】小原「西村自然農園」

【日時】10/27（日）10:00～15:00頃

【参加費】1回目2,000円 2回目1,500円 3回目1,000円

【講師】西村文子さん（きれいな土と空気が作った野草の料理を学びます。山里の暮らしのお話をゆっくり伺いましょう。）

●森の息吹を身にまとう草木染

【場所】稲武「どんぐり工房」

【日時】9/15（日）9:00～16:00頃

【参加費】1回目1,500円 2回目1,000円 ※別途材料費が掛かります。

【講師】村田牧子さん（里地から染め材を採取して草木染をします。）

【申し込み・問い合わせ】申し込みの際は以下の①～⑦の内容をご連絡下さい。

①氏名 ②性別 ③生年月日 ④住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス（パソコン優先） ⑦希望講座

● e-mail : n-hayato@beach.ocn.ne.jp 件名「山里学校参加申し込み（問合わせ）」 ● FAX :052-842-3866 ● 郵送 : 〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-45 西川 方 とよた都市農山村交流ネットワーク事務局「山里学校参加申込み」係

【問い合わせ】090-4792-3440 西川（とよた都市農山村ネットワーク事務局）

● 黄金の絨毯の中で手がまで稲刈り体験

【日時】10月5日（土）9:30～13:00頃

【場所】豊田市中山田代町付近（国道301号線付近からみえる「ゆうぎ」の看板が目印です）

【持ち物】タオル・帽子・作業できる服装・雨具・お茶

【参加費】1000円（新米3合お土産付、昼食には豚汁とおにぎりをだします）

【応募締切】平成23年9月20日（金）17時まで

【申し込み・問い合わせ】しもやま山里協議会 事務局（豊田森林組合下山支所）TEL : 0565-90-4137 FAX : 0565-90-2322

MAIL : kaihatsu@woody.toyota.net

★センター及び関係団体のイベントスケジュール★

● 草刈応援隊の派遣

日時：2013年9月14日（土）9：00～正午

場所：岩下町（小原地区）※その他の実施集落について調整中

● おいでん・さんそんセンター開所記念セミナー

日時：2013年9月20日（金）10：00～12：00

場所：豊田商工会議所 2F 多目的ホール（〒471-8506 豊田市小坂本町1-25）

プログラム：基調講演「現代版『論語と算盤』～澁澤栄一に学ぶ企業経営哲学と新しい社会貢献のかたちを考える～」

講師/澁澤寿一氏（1952年、東京生まれ、東京農業大学博士課程修了、NPO法人「共存の森ネットワーク」理事・「豊森なりわい塾」実行委員長）

● あすけ夢里まつり～「夢」ある仲間たちが手がける暮らしのまつり、一日だけの夢の里～

日時：2013年10月19日（土）10：00～

場所：香嵐渓 三州足助屋敷前広場

● いなかとまちの文化祭～まちといなかをつなぐ、こころを耕すくらしのマルシェ～

日時：2013年12月1日（日）10：00～

場所：名鉄豊田市駅前 シティプラザ・ペDESTリアンデッキ

● ほんわか里山交流まつり～里山をフィールドに活躍する団体と市民の手づくり交流まつり～

日時：2014年3月23日（日）10：00～

場所：笹戸温泉



★スタッフ紹介★

センター長

鈴木辰吉

コーディネートスタッフ

安藤里恵

西田又紀二（ゆきじ）

おいでん・さんそんセンター

〒444-2424 豊田市足助町宮ノ後26-2

（足助支所内2階）

TEL 0565-62-0610（直通）

Mail sanson-center@city.toyota.aichi.jp

<http://www.oiden-sanson.com>

あとがきにかえて

おいでん・さんそんセンターをオープンして半月が経過した。連日お客様に来訪いただき、その応対が私の日課、うれしい滑り出しである。事務仕事は、新規採用の安藤がてきばきとこなす。いい人材を得た。来訪者は、激励に訪れる旧知の方と初対面の方が半々。初対面の方は、自らの熱い夢や構想を持ち、センターに期待を寄せる人々である。いずれ劣らぬハードルの高い相談ばかりであるが、できないことをするために始めた仕事、ワクワクと不安の入り混じったオープン直後のセンターである。

センター長 鈴木

※センター通信「ぶらっとはーむ」は、センターHPを再編集し、PDF、紙媒体として情報発信するツールとして月1回程度の発行を目指しています。※

おいでんさんそんセンターは、都市と農山村の交流をコーディネートする豊田市の取り組みです。